

## 野村日本バリュー厳選投資

追加型投信 / 国内 / 株式

## 設定来の市場環境とファンドの運用について

## 1. 設定来の市場環境とファンドのパフォーマンス

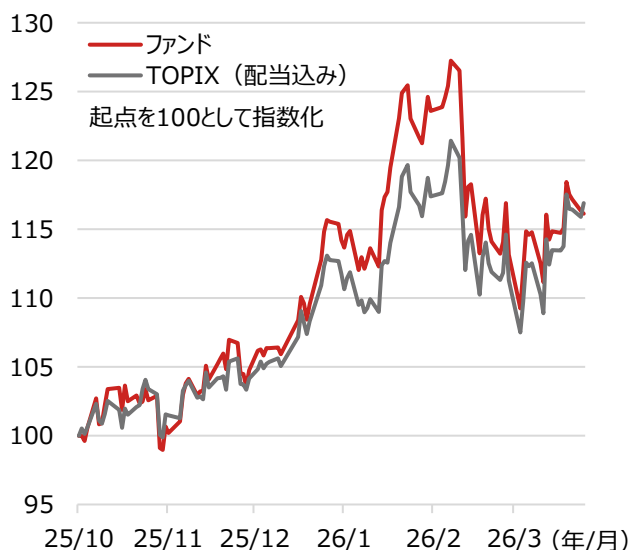
**高市政権への期待から上昇も、地政学的リスクの高まりを受けて調整へ**

ファンド設定以降、日本株市場は総じて堅調に推移し2026年2月末にかけてTOPIX（東証株価指数、配当込み）は20%を超える上昇となりました。2025年度上期決算において企業収益が堅調に推移していることが確認されたことに加え、高市政権誕生による積極的な経済運営への期待が上昇基調となった主因です。特に、2月初旬の衆議院選挙において自民党が単独で定数の2/3を上回る議席数を確保し、政権基盤の安定による政策執行への期待が高まったことで上昇ピッチは加速しました。

その後、米国とイスラエルがイランへの軍事攻撃に踏み切ったことから原油価格の動向など中東情勢が日本経済に及ぼす影響が懸念され、TOPIXは3月単月で10%を超える下落となりましたが、4月に入り停戦に向けた協議が始まったことを好感し約7%上昇しています（4月14日現在）。

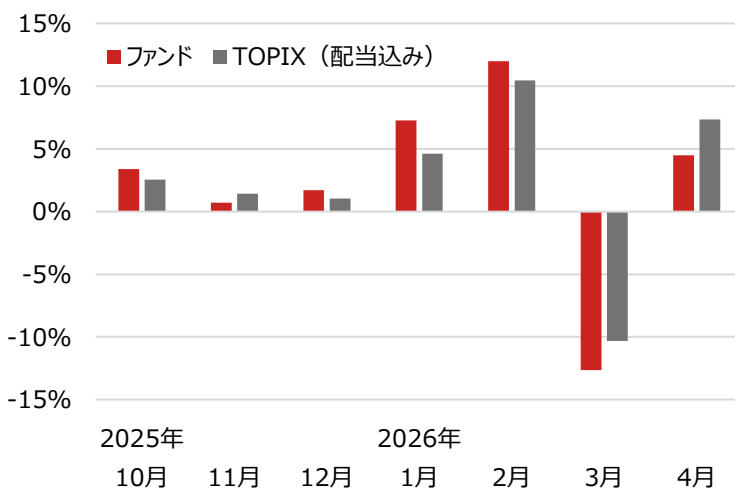
この間のファンドのパフォーマンスは、2月までは総じてTOPIXを上回る月間リターンを実現しましたが、3月以降、値上がりした銘柄が下落するリターンリバーサル的な市場環境となったこともありTOPIXを下回っています。特に、4月は10営業日にはありますが3%近く下回りました（4月14日現在）。

## ファンドとTOPIX（配当込み）の推移



期間：2025年10月21日（設定日前日）～2026年4月14日、日次  
 ファンドは基準価額を使用。上記期間において分配実績はありません。  
 TOPIX（配当込み）はファンドのベンチマークではありません。  
 出所：ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

## ファンドとTOPIX（配当込み）の月次リターン



期間：2025年10月～2026年4月、月次  
 （2025年10月は21日（設定日前日）から、2026年4月は14日まで）  
 ファンドは基準価額を使用。上記期間において分配実績はありません。  
 TOPIX（配当込み）はファンドのベンチマークではありません。  
 出所：ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 2. 2026年4月の運用状況と今後の方針

### 4月の状況：一極集中のグロース優位な展開を背景にTOPIXを下回るパフォーマンス

4月以降、TOPIX（配当込み）が7.4%上昇する中、ファンドは4.5%の上昇に留まっています（4月14日現在）。電線株を中心にAI・半導体関連株（業種では非鉄金属、電気機器）の上昇が市場全体を牽引し、結果的に成長株優位の展開となっています。ファンドでは昨年（2025年）来株価が大きく上昇してきた半導体製造装置株や電子部品株について、期待していたポテンシャルは概ね株価に織り込まれたと判断し、保有分の一部を売却してきました（2026年3月末時点）。こうした投資行動により電気機器へのウェイト（保有比率）が対TOPIXで低くなっていることに加え、市場全体が成長株優位の展開となっていることがTOPIXを下回るパフォーマンスとなった要因と考えています。

### 今後の投資方針：「実力のある強い企業を安く買う」という投資哲学に則った銘柄入替を継続

短期的には半導体関連銘柄のウェイト引き下げがパフォーマンスにマイナスの影響となっていますが、ファンドは「実力のある強い企業を安く買う」を運用哲学とし、期待されるリターンが実現したと判断した場合、より割安な銘柄に機動的に入れ替えることで超過収益の獲得を狙う戦略です。

今後も地政学リスクやマクロ経済動向など投資環境認識をアップデートしつつ、丹念なファンダメンタルリサーチによって「実力のある強い企業を安く買う」運用を継続していくことで、ファンドのパフォーマンス向上に努める方針です。

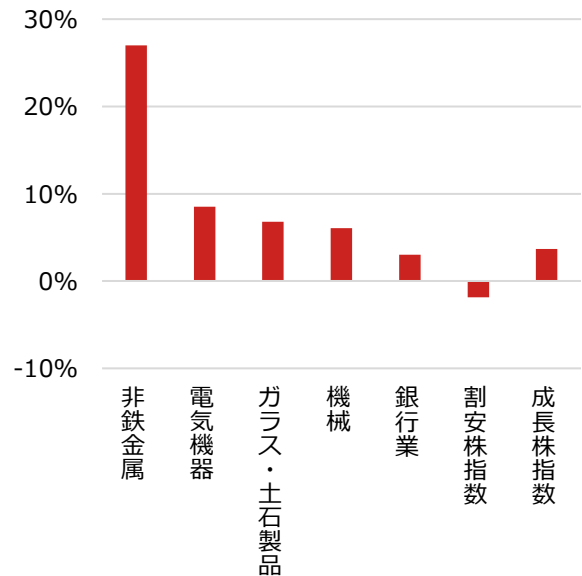
東証改革を背景に、主に資本政策の変更によるROE（自己資本利益率）向上がこれまでの日本株市場上昇の追い風となってきましたが、今後は業界再編や事業ポートフォリオの見直しによる収益性の向上に市場の関心が移行すると見ており、そうした銘柄の発掘に努めたいと考えています。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、上記は当資料作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

### 2026年4月のリターン上位5業種およびスタイル指数の対TOPIXリターン（4月14日まで）

\* 業種は東証33業種



期間：2026年3月31日～2026年4月14日

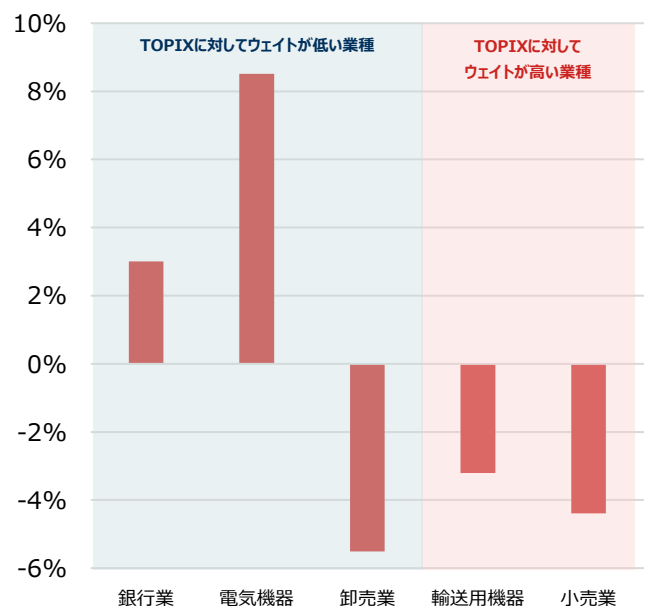
割安株指数：Russell/Nomura Total Market Value インデックス（配当込み）

成長株指数：Russell/Nomura Total Market Growth インデックス（配当込み）

TOPIX（配当込み）、割安株指数、成長株指数はファンドのベンチマークではありません。

### 2026年3月末時点のファンドの保有上位5業種の対TOPIXリターン

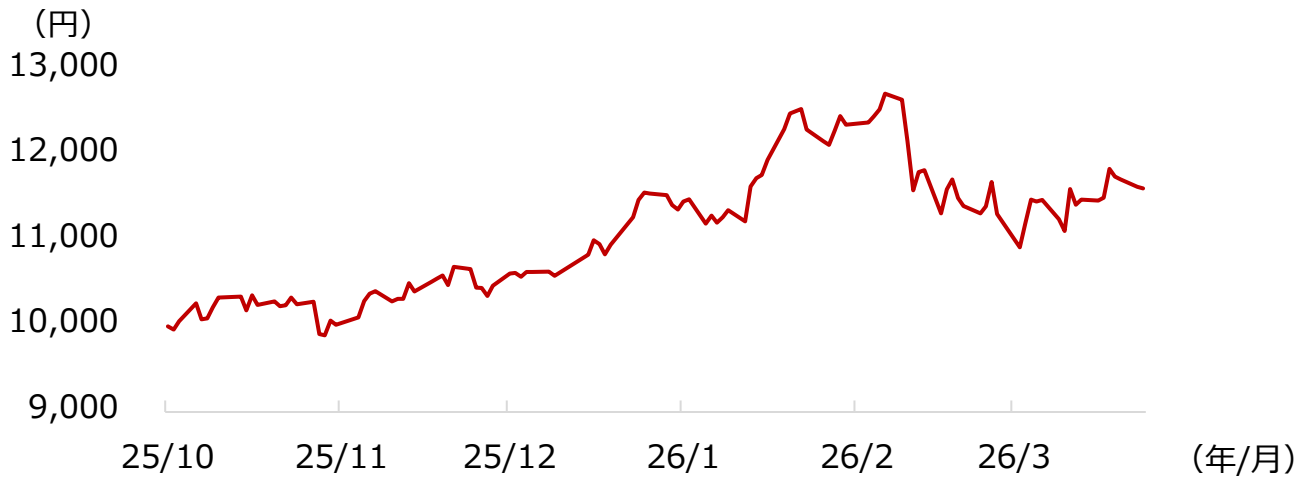
\* 業種は東証33業種



期間：2026年3月31日～2026年4月14日

TOPIX（配当込み）はファンドのベンチマークではありません。

## ファンドの運用状況 基準価額の推移



期間：2025年10月22日（設定日）～2026年4月14日、日次  
上記期間において分配実績はありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●東証株価指数（TOPIX）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）に係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）に係る標章又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、東証株価指数（TOPIX）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●Russell/Nomura Total Market Value インデックスおよび Russell/Nomura Total Market Growth インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社および FTSE Russell に帰属します。

# ファンドの特色

**1** わが国の株式を実質的な主要投資対象<sup>※</sup>とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、「ジャパン・ストラテジック・バリュー集中型マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

**2** 株式への実質的な投資にあたっては、わが国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している株式の中から、資産・利益等に比較して株価が割安と判断され、今後の株価上昇が期待できる銘柄の中から割安修正のきっかけまでの期間を考慮して厳選し、投資を行なうことを基本とします。

**3** 株式の実質的な組入れにあたっては、フルインベストメントを基本とします。

投資環境、資金動向などを勘案して、運用担当者が適切と判断した際等には先物取引の利用も含めて株式実質組入比率を引き下げる場合があります。

**4** ファンドは「ジャパン・ストラテジック・バリュー集中型マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

# 投資リスク

**当ファンドの投資リスク** 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じる可能性があります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お申込みメモ

● 信託期間	無期限 (2025年10月22日設定)	
● 決算日および収益分配	年1回の毎決算時(原則、毎年9月18日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。 *初回決算日は2026年9月18日となります。	
● ご購入時	● ご購入価額	ご購入申込日の基準価額
	● ご購入代金	原則、ご購入申込日から起算して4営業日目までに販売会社にお支払いください。
	● ご購入単位	一般コース(分配金を受取るコース): 1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース(分配金が再投資されるコース): 1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 *原則、ご購入後にコースの変更はできません。*詳しくは、野村証券にお問い合わせください。
● ご換金時	● ご換金価額	ご換金申込日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
	● ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して4営業日目から販売会社でお支払いします。
	● ご換金制限	1日1件10億円を超える換金は行なえません。なお、別途換金制限を設ける場合があります。
● 課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。ファンドはNISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。	

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドに係る費用

(2026年4月現在)

● ご購入時手数料	ご購入代金*に応じてご購入価額に以下の率を乗じて得た額	
	ご購入代金	ご購入時手数料率
	1億円未満	3.3% (税抜3.0%)
	1億円以上5億円未満	1.65% (税抜1.5%)
	5億円以上	0.55% (税抜0.5%)
	※ご購入代金=ご購入口数×基準価額+ご購入時手数料(税込)	
● 運用管理費用(信託報酬)	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。 純資産総額に年1.6005%(税抜年1.455%)の率を乗じて得た額	
● その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。 (運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。)	
	・組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・外貨建資産の保管等に要する費用 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ファンドに関する租税 等	
● 信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%以内の率を乗じて得た額(2025年9月26日現在0.2%) ※換金に応じて発生すると見込まれる費用水準等を踏まえ、信託財産留保額の水準を変更する場合があります。	

上記の費用の合計額については、投資家の皆様ที่ファンドを保有される期間等に  
応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<当資料について>

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

<お申込みに際してのご留意事項>

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- ファンドの分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

**NOMURA**  
野村証券

商号：野村証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号  
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人資産運用業協会／  
一般社団法人金融先物取引業協会／  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会／  
一般社団法人日本STO協会

設定・運用は

**NOMURA**  
野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会／  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

● サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

● ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

